

11月29日(金) 中学部の進路指導の一環として、ソフトバンク株式会社様、ナブテスコ株式会社様、東日本高速道路株式会社様より講師をお迎えして『進路講話』を行いました。同日に乳幼児相談室・幼稚園部の保護者講座の講師をしていただいた方にも、オブザーバーとして参加をしていただきました。

4名とも筑波大学附属聾学校高等部を卒業されています。

座談会形式で、3つの内容についてお話していただきました。

- ①現在の仕事の概要および現在の仕事に就くまでの経歴
- ②仕事をする上で「聴覚に障がいがあること」で大変なことおよび対処方法や工夫
- ③中学部時代に身に付けておいた方がよいこと、取り組んでおいたらよかったこと

具体的な仕事の内容を、クイズもまじえながらお話していただき、生徒は楽しく参加していました。仕事上では、事前に障がいがあることをしっかり説明したり、コミュニケーションツールを活用したりして、工夫して対処していることがわかりました。国語の力が大切になると話されていました。中学部時代に身に付けておいた方がよいこととして、「勉強(国語・勉強のやり方)」、「感謝の気持ちをもつこと」、「挑戦する姿勢」、「調べる習慣」、「自分を見つめ直す習慣」、「先生、先輩、後輩との付き合い方」などを挙げられていました。また、3名とも仕事で英語を使用しており、学生時代に英語の基礎を身に付けておくことが大切だと強調されていました。

生徒からは、「高校の時に楽しかったことは何ですか」、「大学生の時に大変だったことは何ですか」、「仕事は楽しいですか」など、たくさんの質問が出ました。進路講話が終わった後も、生徒は講師控え室に行き、講師の方が使用している文字起こしのツールの名前を尋ねるなど、更に質問を重ねていました。





<講師の方々> (生徒が似顔絵を描きました)

